

Rotary Club of Engaru, Area 4, RID 2500		2014~2015年度	
遠軽ロータリークラブ		会報 第12号	
国際ロータリー 第2500地区 第4分區			
2014年10月 2日(木) 12:30	ゲスト卓話 えんがる町観光協会 村上事務局次長		
2014年10月 9日(木) 12:30	職場訪問 花の苑		
第2700回例会記録		遠軽ロータリークラブ通常例会	
司会：遠藤利秀 S A A		日時：2014年 9月25日(木) 12:30~ 場所：ホテルサンシャイン 2F	



☆開会点鐘 上田 稔 君 ☆Rソング「それでこそロータリー」

上田 稔 会長 スローガン：ロータリーとともに輝こう！

◇本日のゲスト

遠軽高等学校インターアクトクラブ
 顧問教諭 小島 啓一 様①
 部長 内山 有紗 様②
 遠軽信用金庫 本店営業部 菅原 恵介 様③

会長報告 上田 稔 君④

今日の例会は、第2700回という節目の例会であります。創立日が9月12日ですからちょうど55年になります。2700回÷55年で年平均49.1回の開催ということになります。

9月20、21日に行われました第35回遠軽R C旗争奪中学校野球新人戦が、晴天の下、無事行われまして、遠軽中学校が優勝しました。

参加をいただきました会員の皆様大変ご苦労様でした。

昨日、北海道家庭学校100周年記念式典が行われまして、私と木村会長エレクトが出席しました。

私は会社の関係での出席となりまして、ロータリークラブとしては木村会長エレクトに出席していただきました。

遠軽高校ラグビー部は残念な結果になりました。来年に期待したいと思います。

幹事報告 成田 弘明 君

- 9月30日、社会奉仕委員会の交通安全街頭啓発を10時より行いますので会員皆様の出席をお願いいたします。
- 本日、例会終了後に理事会を開催します。

本日のプログラム

インターアクト、ライラセミナー報告
 青少年奉仕委員長 東海林 勉 君

9月は「新世代のための月間」で、年齢30歳までの若い人、すべてを含む新世代の育成を支援する



ロータリー活動に、焦点を当てる月間です。クラブは、新世代の基本的ニーズ、すなわち健康、人間の価値、教育、自己開発を支援するプロジェクトに着手するように要請されています。

9月は13日～15日、帯広北R Cがホストになって開催の第34回ライラセミナーと20日、21日、えんがる球場で第35回遠軽ロータリークラブ旗争奪中学校野球新人戦が行われました(4面)。

本日のプログラムは遠軽高等学校インターアクトクラブの活動報告(2面)とライラセミナー参加者の報告(3面)をしていただきます。

〔報告後、上田会長④よりライラセミナー修了証書が菅原様③に授与されました。〕

インターアクトクラブ活動報告



遠軽高等学校 I A C 部長
内山 有紗(3年)②

こんにちは。遠軽高校インターアクトクラブは現在8名で活動しています。

昨年からおわたしたちが行ってきた活動について報告します。

日常的に行っている活動では、校内に回収箱を設置して（下の写真）、週に一度交代制で回収して、それぞれ仕分けしています。



7月の学校祭では、4年前から、不要になった衣類や本、楽器類を集めて、アジアやアフリカの国の恵まれない人たちに送っています。

昨年はフィリピンのスラムに住んでいる子供たちのために、文房具やタオル、Tシャツなどを集めたところ、本校生徒と50人以上の町民の方々より数百点の寄贈品をいただき、関連のNGOを通して現地に送りました。

下の写真はフィリピンの子供たちで、文房具のセット（袋の中）を贈りました。今年は遠軽ロータリークラブの皆さまから寄贈して頂いた物品も一緒に送りました。ご協力ありがとうございます。



本日も上田会長様からご協力頂き、ありがとうございました。

物品が届いた国々から後日、お礼状と写真が届きます。

9月には生徒会と遠軽警察署の協力により、無事カエル運動という活動に参加しました。

生徒会と協力して作ったカエルのマスコットをドライバーに配り、交通安全を呼びかけるというもので、20年以上前から続いています。

4年前から、毎年9月には、日本一を誇る遠軽町のコスモス園のガイドをします。今年は遠軽町が作ったラジオコマーシャルに部長の私が出演し、全道に放送されました。

毎年2回行われている社会福祉のイベントの運営の補助をしていて、私たちは手作りのソフトクリームを販売しています。

町にある3か所の児童館合同の餅つき大会の手伝いをしました。お餅が出来上がるのをわくわくしながら待っていた子供たちは、お餅が出来上がると口いっぱい頬張っていました。喜んでる姿にとってもやりがいを感じた瞬間でした。



この写真は今年のインターアクト地区大会で、1年生が活動報告をしている様子です。私がタイへ短期海外研修に行った時の報告もしました。

どの学校もいろいろな活動に取り組んでおり、私たちの活動に活かしたいものもありました。

ここではグループワークをしました。海外研修に行った生徒を中心にグループを編成し、外国人を日本で旅行させるためのプランを考えグループごとにプレゼンテーションを行いました。各班それぞれに意見を述べるなど、とても充実した交流の場になりました。

大会に参加させてもらい、他校とたくさん交流したり、自分たちの活動をより活発にしていくためのよりよい機会となりました。

以上が私たちの主な活動です。

昨年度は校内での募金活動、ユネスコ研究大会参加。今年はそろばん回収のように新たな取り組みを自分たちで積極的に取り組んでいけたらと思います。

また、大会に参加することによって、他校との交流や自分たちの取り組みを見直す場にもなっており、大会へ参加する姿勢をもっと意欲的にしていけたらと思います。

以上でご報告を終了させていただきます。ありがとうございました。

最後に、同クラブ顧問教諭の小島先生①より、遠軽ロータリークラブの支援に対して感謝のご挨拶がありました。



第34回 ライラセミナー報告 [2014年9月13日～15日 於：帯広]

体感☆体験☆体話 一体感

遠軽信用金庫 本店営業部 菅原 恵介 様③



【最初のグループ会議。中央が本人】

私は、9月13日から15日まで帯広で開催されたライラセミナーに参加してきました。

最初は緊張して周りの人と仲良くなれるのかと不安でしたが、開講式後に行われたグループ会議で率先して話しかけた甲斐があり、同じグループの人とは仲良くなれました。

初日は、ばんえい競馬場で競馬場の運営や鞍馬について係りの人から説明を受けました。

その中で、競馬場がなくなれば鞍馬の生産はなくなり、鞍馬が生まれなければ競馬場は存続できないということを聞き、どちらかが欠けると成り立たない仕組みになっていることを学びました。また、間近でレースを見ましたが、鞍馬の息遣いや騎手の声、周りの歓声を聞くと迫力があり、とても感動しました。実際に現地に行かないと体感できない感動を味わいました。



【ライラセミナー実行委員会撮影】

二日目は、酪農家のところに行き、酪農家の実情や牛について説明を聞きました。

私が一番驚いたことは、種牛が一冊のカタログになり、その中から良い雄牛を選び種付けする、ということでした。

実際に牛舎に行き、生まれたての子牛に触れたり、搾乳体験をさせていただいたりしました。触れることにより、牛たちの温もりや生命の尊さを感じ、私達がいつも口にする乳製品のありがたさを身を持って体感してきました。



【セミナー会場前でお出迎えのブタドンマンと】



【グループ発表をする本人(左端)】

その後、隣接するアイスクリーム屋のレシピを基にして全員でアイスを作りましたが、テーブル毎で味が異なっていたので、理由を担当者に伺ったところ、混ぜる時に入る空気の色によって味が変わる、ということを知りました。

酪農体験の後、ホテルでろうあ者の佐藤さんの講話を聞き、全員で実際に手話を行いました。

私はろうあ者を合めた障がい者が災害時に健常者より判断が遅くなり逃げ遅れることもあり得るため、行政には法律や条例等を策定していく必要があると感じました。

また、私達も障がいを持った人の意見に耳を傾け、私達に出来ることを増やしていかなければならないと感じました。今回、講話を聴き、実際に手話を教わったので全員が自己紹介できるようになりました。

二泊三日という短い時間でしたが、異業種の人達と出会えたことが人生の糧となり、今後の仕事にも必ず活かしていきたいと思えます。

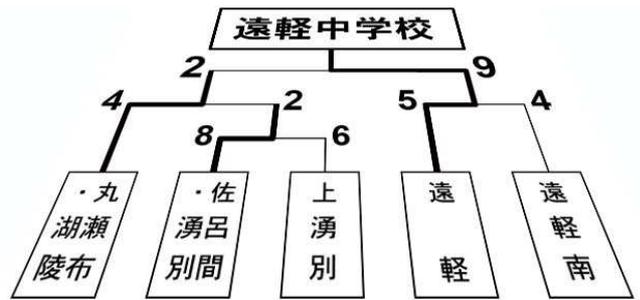
私達のグループは、常に一緒に行動し、他のグループには負けない固い絆ができました。今はそれぞれの職場や地域で働いていますが、必ず今年度中には集まろうと約束して帰ってきました。

今回このようなセミナーに参加させていただき、ありがとうございました。この経験を地域や仕事に還元できるように精進していきます。



9月20日、晴天のもと開会式⑤並びに始球式⑦(投手=上田君、捕手=黒坂君、打者=竹内君)が行われ、一、二回戦が戦われました。
 今年は昨年より少ない5チームで戦われ、混成チームと女子選手が頑張った新人戦になりました。

21日、決勝戦が行われ、遠軽中学校チームが優勝旗を手にし⑧(⑥右側)、丸瀬布・湖陵中学校混成チームが準優勝(⑥左側)しました。



ニコニコ BOX 親睦活動委員長 成田 弘明 君

中川満之君 無断欠席 2,000円
 合計 2,000円
 累計 208,000円

出席報告 出席委員長 石井 定男 君

例会日	会員数	出席計算 会員数	出席者数	マイク アップ	出席率	無届欠席
9月19日	34	31	22		71.0%	1
9月25日	34	31	23		74.2%	1

☆ 閉会点鐘 上田 稔 君
 ☆ 今月会報担当 遠藤 利秀 君

◆ 〒099-0415
 北海道紋別郡遠軽町岩見通南2丁目
 遠軽商工会議所内
 Tel 0158-42-5201 Fax 42-5134
 E-mail info@engaru-rc.com
 ◆ 北海道紋別郡遠軽町大通北1丁目
 ホテル サンシャイン
 Tel 0158-42-1151 Fax 42-1151
 毎週木曜日 12:30~13:30
 第3木曜日は夜間例会(18:00~19:00)

会 長 上 田 稔
 副 会 長 兼 平 哲
 会 長 以 外 木 村 一
 幹 事 黒 坂 貴
 会 計 島 田 光
 S A A 遠 藤 利
 直前会長 波 辺 政

編集・発行 メディア委員会
 (担当月)
 委員 長 山田 莊一(5・6月)
 副委員 長 東海林 勉(11・12月)
 委 員 佐久間英昭(7・8月)
 遠藤 利秀(9・10月)
 伊藤 太一(1・2月)
 本吉 春雄(3・4月)